

3 地域活用型学校（市民生活の拠点づくり）を目指して

これまでよりも市民や地域の方が使いやすく、より身近に感じてもらえる拠点とします。

地域活用型学校とは

学校を、子どもたちだけの場ではなく、大人もともに学び、ともに育つ場にしていいため、これからの学校は、学校教育の場や身近な避難施設としてはもちろん、多様な人々が学校につどい、活動や交流をする地域の活動拠点とすることを目指しています。そこで、新たに整備する学校においては地域に開放する区画を、普通教室などの学校

専用の区画と導線を区切り、皆が安心して利用できるセキュリティを確保します。こうした「学校を地域の活動拠点とする」ということを、より分かりやすく伝えるために、改めて「地域活用型学校」と称し、取り組みを進めています。

普段から地域のイベントや会議に使えるんだね



4 これからの学校を考える授業の開催

何で統合するのかな？ 新しい学校はどんな学校になってほしいかな？ 小学3年生の社会科で考えてみました。

知ろう 考えよう 新たな学校づくり

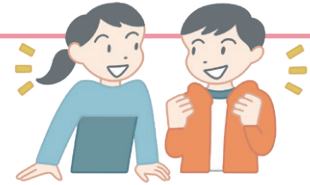
取り組みを進めている第1期の5地区（本町田、南成瀬、鶴川東、鶴川西、南第一小学校地区）の9校において、小学3年生を対象に、これからの学校を考える授業を実施しています。新たな学校づくりに取り組む背景である

少子化や学校施設の老朽化が進んでいること、今と昔の学校の違い、町田市がどんな学校を目指しているのかを学び、「これからの学校はこんな学校がいいな」を考えるグループワークや発表をしてもらいました。



授業の感想

- 子どもが少なくなってびっくりした
- 市役所の人の話で知らないことを知れてよかった
- 新しい学校ができるのがワクワクする
- 自分たちで考えた意見でいい学校になってほしい
- 楽しく過ごせる学校にできそう
- いろいろな意見があって面白かった。
- 他のグループの意見もいいなと思った
- ぼくらが中学生になったときに、新しい学校の図書室が使えるなら行こうと思った
- 学校が減るのはさみしい。
- 仮校舎のみの在学になるが、がんばろうと思った



5 第1期の学校の進捗状況

鶴川西地区、鶴川東地区、南第一小学校地区の進捗をお知らせします。

（仮称）鶴川中央小学校（鶴川西地区）

新しい校歌・校章の制作に取り掛かりました

2026年度 学校統合（現・鶴三小の位置）
2029年度 新校舎使用開始（現・鶴四小の位置）

鶴川西地区の鶴川第三小学校と鶴川第四小学校は、2026年度の学校統合に向けて準備を進めています。鶴川西地区では、新しい校歌・校章の制作に、両校の子ども達と取り組んでいます。子ども達はクラスの中で、「校歌に込めたい想い」や「校章のイメージ」についてみんなで話し合っているほか、2025年3月に開催する「校歌をつくる会」「校章をつくる会」に、制作者と、両校とその卒業生の代表が参加して子ども達の意見を出し合うなど、校歌・校章の制作と一緒に取り組んでいます。

（仮称）鶴川東小学校（鶴川東地区）

「鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画」の見直し作業をしています

2029年度 学校統合（現・鶴三小の位置）
2033年度 新校舎使用開始（現・鶴二小の位置）

鶴川東地区の鶴川第二小学校と鶴川第三小学校の一部の学区は、2029年度の学校統合に向けて準備を進めています。鶴川東地区では、当初予定していた学校統合時期を変更し、鶴川第三小学校を仮校舎とする計画としました。このため、地域・保護者・学校運営協力者・学校の代表からなる「鶴川東地区小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会」では、新しい通学路の安全対策や負担軽減策など、基本計画で示してきた統合に向けて取り組む事項の見直し作業を進めています。

南第一小学校地区

南中学校の敷地に設置する仮校舎の整備を進めています

2027年度 仮校舎へ移転（南中の位置）
2030年度 新校舎使用開始（南一小の位置）

南第一小学校は、単独で建替えを進めています。南中学校に整備する仮校舎の設計・建設業者を決定し、現在、2025年度中の着工に向けて準備を進めています。並行して、小学校用のグラウンドの工事を進めています。なお、新校舎の整備についてはPFI手法での整備を予定しておりましたが、昨今の社会情勢の変化により、民間事業者の参画可能性のハードルがより高くなる傾向にあることなどから、従来手法での整備に変更しました。新校舎の使用開始時期に変更はありません。

【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 学校施設の整備に関すること 施設課 ☎042-724-2174

まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ （町田市ホームページ）

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。右の二次元コードからアクセスすることができます。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報誌は、201,000部作成し、1部あたりの単価は5円です。（職員人件費を含みます。）